



百の診療所よりも一本の用水路を 中村哲の挑戦

展覧会期：2023年4月7日(金)～2023年6月22日(木)



現地の人々がメンテナンスをするカシコート用水路(2020年) ©PMS/ペシャワール会

■開催趣旨

ギャラリーエークウッドでは、「百の診療所よりも一本の用水路を 中村哲の挑戦」展を開催いたします。

医師としてパキスタン、アフガニスタンで活動した中村哲は、2000年の大干ばつ以降、多くの患者たちの生活の根源にある、水不足、農地の枯渇の問題に目を向けました。自ら先頭に立ち建設された取水堰・用水路は10ヶ所に至り、現在までに計2万3800haの緑の大地が復活しました。周囲の村で農業の営みが蘇り、65万人以上の命を支えています。

中村は故郷・福岡県の山田堰に倣った「斜め堰」など日本の伝統的な治水技術を用い、現地の住民自ら維持、修復できる持続可能な方法を考えました。「主役は現地の人々」という姿勢は1984年の医師としての着任当初からゆるぎなく、その延長線上に用水路建設がありました。

本展覧会では、中村哲の生い立ちから、ハンセン病患者のためのサンダル工房、医療活動地域の広がりや井戸掘りなど長年にわたる活動を追い、集大成としての用水路建設とそこで活かされた技術について紹介します。そしてPMS/ペシャワール会をはじめ、現在も意志を継ぎ活動をする方々の声を届けます。

「自然に生かされる人間が、この大地に生きるものとしての分限をどのように知るのか」と中村は問いかけました。この世界を生きていくための道標として、彼の言葉と活動を紹介します。

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。



■企画概要

展覧会名：百の診療所よりも一本の用水路を 中村哲の挑戦

会場：GALLERY A⁴（ギャラリー エー クワッド） 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

会期：2023年4月7日（金）～6月22日（木）

開館時間：10：00～18：00（土曜、最終日は17：00まで）

休館日：日曜・祝日、4月29日（土）～5月7日（日）

入館料：無料

主催：公益財団法人 竹中育英会

企画/共催：公益財団法人 ギャラリー エー クワッド

協力：PMS/ペシャワール会、九州大学「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」
株式会社日本電波ニュース社

お問合せ：ギャラリー エー クワッド事務局 TEL 03-6660-6011

E-mail：gallery@a-quad.jp

公式サイト：https://www.a-quad.jp/

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後、会期やイベント情報が変更となる可能性があります。
最新の情報は公式サイトをご確認ください。

■展覧会のみどころ

1章 中村哲を知る：どんな小さな出来事も、時と場所を超え結ばれていく

“中村哲の活動を俯瞰する年表、関連図やコラムを紹介”

幼少期に昆虫に魅せられ野山を駆け巡った中村哲。蝶への関心はのちのパキスタンでの医療活動のきっかけともなりました。生い立ちから影響を与えた宗教との出会い、また中村哲の活動地域であるアフガニスタンとはどんな所か？についても紹介します。

2章 医師として生きる：だれも行かないから、われわれは行くのだ

“ハンセン病患者のためのサンダルの実物を展示。医師としての活動の広がりを追う”

医師としてパキスタン・ペシャワールへ派遣され、ハンセン病治療に取り組む中で、中村は足裏の傷の予防のためサンダルを作る工房を開きます。さらに現地の人々と状況に向き合う中で、活動地域はアフガニスタンへと及び、重大な被害をもたらした2000年の干ばつの際には井戸を掘り水源確保の活動を始めます。

3章 医者、用水路を拓く：病気は後で治せるから、まず生きておりなさい

“用水路建設の過程とともに、日本の伝統技術に学んだ用水路の工夫を映像と図版で解説”

干ばつや戦争の影響でさらに多くの人々が苦しむ中、その根本にある水不足を改善するため、専門家のいない中で無謀とも思われた用水路建設へ乗り出し、65万以上もの人々が再び農業で生活できる緑の大地が復活しました。展示では日本の伝統技術に学んだ「斜め堰」などの技術を解説、現地の住民自らが維持、修復できる持続可能な工夫も紹介します。

4章 意志を継ぐ人々：私の後継者は用水路です

“現在も活動を続ける人々へのインタビューや生前の様子を映像で紹介”

2019年に中村哲が凶弾に倒れたのちも、PMSとペシャワール会をはじめ多くの人にその意志は受け継がれ、現地での活動が続けられています。中村は生前「私の後継者は用水路です」と語りました。用水路をはじめ、中村の蒔いた種は現地で暮らす人々の生活を支え、新たな世代を育てています。



■広報用画像 ※画像は全て ©PMS/ペシャワール会



1. 中村哲氏



2. 現地の人々がメンテナンスをする
カシコート用水路 (2020年)



3. 住民による用水路の手入れの定例化
について話す中村哲 (2008年)



4. E地区 水路の掘削作業 (2003年8月)



5. E地区 通水から4年後 (2009年4月)



6. マルワリード用水路の通水 (2005年)

■関連イベント

□トークショー「中村哲とともに歩み、受け継ぐ」 ※申込受付 3/15 (水) 10時～

日 時：2023年4月14日 (金) 18:00～19:30

講 師：村上 優 (ペシャワール会 会長)

□上映会+トークショー ※申込受付 3/15 (水) 10時～

日 時：2023年4月15日 (土) 10:30～12:00

上 映：「医師 中村哲の仕事・働くということ」

講 師：谷津 賢二 (映画監督/カメラマン (日本電波ニュース社))

□トークショー「命の水を運ぶ暮らしを支える治水の技術」 ※申込受付 3/15 (水) 10時～

日 時：2023年4月15日 (土) 13:00～14:30

講 師：島谷 幸宏 (熊本県立大学特別教授)

谷津 賢二 (映画監督/カメラマン (日本電波ニュース社))

永田 謙二 (国際協力機構 (JICA) 国際協力専門員、ペシャワール会 理事、PMS支援室技術アドバイザー)

石橋 忠明 (有限会社光洋メタルヒューテック 代表、ペシャワール会 元現地ワーカー、ペシャワール会小川代表)

□トークショー「中村哲と共に働いて、そしてこれから」 ※申込受付 4/7 (金) 10時～

日 時：2023年6月15日 (木) 18:00～19:30

講 師：藤田 千代子 (ペシャワール会 PMS支援室長)

場 所：竹中工務店東京本店2階Aホール (東京都江東区新砂1-1-1)

定 員：100名 要事前申込 (先着順) 参加費：無料

お申込み：公式HP (<https://www.a-quad.jp/>) にて、順次受付予定です。

▼公式HP

